

# 福岡教区「平和を祈る集い」 平和と人権共に考える

## 子どもたちのための分科会も

福岡教区(ヨゼフ・アベイヤ司教)は8月12日、福岡カトリック大名町教会(福岡市)で教区主催の「平和を祈る集い」を開いた。今年のテーマは「明日からできる平和を考える」。平和や環境問題を考える分科会、平和に対する主張」発表会に続き、複数の言語による平和祈願ミサがさげられた。自衛隊配備が進む日本の南西諸島の状況などを伝えるパネル展示もあった。1日を通して信徒、司祭・修道士、朝鮮学校やカトリック学校の生徒ら延べ430人余りが交流し、平和と人権への思いを分かち合った。



九州朝鮮中高級学校高級部の生徒たちが朝鮮舞踊を披露した

**朝鮮学校中高生の差別反対アピール**  
集いの初めに、九州朝鮮中高級学校(福岡県北九州市)の中学・高校生が伝統衣装に身を包み、朝鮮舞踊とサムルノリ(民族打楽器の演奏)を披露した。朝鮮語と日本語の歌のコーラスもあり、生徒

や澄んだ歌声に、会場から惜しみない拍手が送られた。舞台の最後に、5人の生徒代表が「朝鮮学校差別反対アピール」で思いを訴えた。同校の生徒たちのほとんどは、朝鮮半島にルーツを持つ在日朝鮮人3世、4世。

生徒代表らは、朝鮮学校や在日朝鮮人に対する差別が後を絶たない日本社会の現実を感じているが、自分たちは朝鮮人であることへの誇りがあり、在日朝鮮人の友人たちと手を携えて希望を失わずに未来を築きたいと力強く訴えた。そして、日本人を含む、自分たちを支えてくれている人々への感謝の言葉でアピールを締めくくった。

「平和な世界をつくるための学び」  
分科会では、朝鮮学校とカトリック学校の中高校生たちが加わり、小グループに分かれて「平和な世界をつくるために何が必要ですか。私たちに何ができますか?」という問いへの答えを話し合った。

小学生以下の子どもたちは「欲張らない」「相手の気持ちを考えて話そう」「周りの小さな争いをなくす」などの意見を発表。中高校生からは「対話を通じて相手を受け入れる」「隣人のように愛する」「他国について知る」「いろいろなことに興味を持つ」「平等に接する」などの意見が出された。

聖書に関するクイズ、写真やイラストの中にある答えに丸を付けるゲームも行い、交流のひとときを持った。この他に中米・コス

「平和」は、「私たちの心の内に宿る神からの贈り物であり、神だけが与えることのできる平和」だと話し

「平和」は、「私たちの心の内に宿る神からの贈り物であり、神だけが与えることのできる平和」だと話し

境への取り組み、日本の死刑問題とえん罪事件問題について学ぶ分科会も同時に行われた。

祈りは「叫び」に変わる  
午後、「平和に対する主張」発表会では、司祭・修道士、信徒、カトリック学校の生徒ら15人が意見を發表した。

視覚に障がいのある櫻谷一枝さん(熊本地区信徒)は、録音した音声データで思いを發表。地球温暖化の影響を日々実感していると語り、無駄を出さない暮らしの工夫をしていることを紹介した。今後も自分ができることを見つけて、

「将来の人々に(地球を)手渡すことのできたらいいのではないかと締めくくった。英語コミュニケーションのオコト・ジヤネット・アディアンポさんは、イエスのあいさつ「平和があるように」が意味する「平和」は、「私たちの心の内に宿る神からの贈り物であり、神だけが与えることのできる平和」だと話し

さんはこの後の平和祈願ミサで、平和は私たちの心の中から始まり、出会う人々に広がっていく旅であること、を思い出そう、と訴えた。

外国籍の信徒たちと共にさげられた平和祈願ミサの冒頭、主司式したアベイヤ司教は、「戦争や暴力によって命を失い、苦しめられている人々のことを心の中で深く感じて平和を祈りたい」と会衆に呼びかけた。

アベイヤ司教は説教で、今日一日の学びを振り返りながら「戦争は私たちの中にある欲望から生まれてくる」と指摘。私たちが、神から与えられた「他者の苦しみを見て痛む心」で平和を祈る時、

その祈りは強められて「叫び」に変わる。「平和を愛し、平和のために諦めずに働く」ように、と語りかけた。

集いの実行委員の一人、岩根のぞみさん(36/熊本・菊池教会)は熊本から家族4人で参加した。現在の社会情勢を考えると未来への不安もあるが「みんな頑張ればいい、(自分は)一人じゃない」と希望を感じたという。

日頃から平和や地球環境について夫妻よく話し合っているという夫の俊哉さん(37)は「今日は皆で考えて話すことができうれしかった、刺激になりました」と話した。小学4年生のはるき

んは「平和のことを毎日あまり考えてなかったから、いろいろ考えられてよかった」「1年生のなつ希さんは「クイズが楽しかった」と振り返った。

木本敬子さん(77/福岡・西新教会)は、国籍や世代の異なる人たちの「平和に対する主張」を聞いて、カトリック教会は「共にいる」と言葉に出すだけではなく行動で体現し、神への感謝を共有することが大切だと感じたと話した。

午後、「平和に対する主張」発表会とミサは、福岡教区のYouTubeチャンネル(<https://www.youtube.com/watch?v=DrDp8Pj4n5E>)で視聴できる。

午後、「平和に対する主張」発表会とミサは、福岡教区のYouTubeチャンネル(<https://www.youtube.com/watch?v=DrDp8Pj4n5E>)で視聴できる。

午後、「平和に対する主張」発表会とミサは、福岡教区のYouTubeチャンネル(<https://www.youtube.com/watch?v=DrDp8Pj4n5E>)で視聴できる。

午後、「平和に対する主張」発表会とミサは、福岡教区のYouTubeチャンネル(<https://www.youtube.com/watch?v=DrDp8Pj4n5E>)で視聴できる。



福岡教区「平和を祈る集い」の参加者が集合写真を撮った